

事務事業名		耕作放棄地解消事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		農業課		H28係等名		農村振興係		H27係等名		農村振興係		
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり								
目的	対象(誰・何を)	耕作放棄地							対象指標	指標名及び単位	27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	再生利用する								耕作放棄地面積(ha)	491	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円										
目標	種別	指標名及び単位				27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	耕作放棄地解消面積(ha)				3	1	2	-			
	成果指標	再生交付金事業実施面積(a)				100	21	150	-			
定性目標												
事業概要	<p>農業振興地域内の荒廃した農地の再生作業(障害物除去、深耕、整地等)を耕作放棄地再生利用交付金を活用し、実証ほ場として市が実施する。再生作業後は耕作者を確保し農地として活用してもらい、展示・PRをし、耕作放棄地対策の気運を高める。実際には、耕作放棄地対策協議会である飯田市農業振興センターが事業主体となり、補助残部分を市が負担する。</p> <p>H28～農地利用集積円滑化事業を統合 農地利用円滑化事業はJAみなみ信州が円滑化団体として実施している業務であることから事務事業を廃止。 耕作放棄地となる前の農地流動化を促進するための取組であることから耕作放棄地に統合。</p>											
事業内容		名称				活動指標						
27年度事業内容	1 再生交付金を活用した耕作放棄再生面積 下久堅B地区 再生面積21a、施設等保管整備事業パイプハウス5棟				1 耕作放棄地再生面積				1 21a			
	2 農地中間管理事業(市町村受託業務) (1)農用地借受希望者の受付 (2)農用地貸付申出書の受付 (3)貸出希望者と借受希望者のマッチングにより農地中間管理機構へ貸付ける				2 農地中間管理事業 (1)新規借受希望者数 (2)新規貸付申出者数 (3)貸付けた件数・面積				2 (1)22人 (2)40人 (3)17件・9.4ha			
	3 農地利用集積円滑化団体(JA)等関係機関との農地情報の共有 農業振興センター耕作放棄地対策専門部会の開催				3 部会開催数				3 1回			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		3,186	1,488	185	1,348	(そ) 諸収入(農地中間管理業務受託料)						
国庫支出金			1,000		750	26→27繰越明許費 1,300千円						
県支出金		3,000			410							
起債												
その他		185	185	185	185							
一般財源		1	303		3							
人件費計(千円)②		0		0								
正規職員所要時間												
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,186	1,488	185	1,348							
事業内容・目標達成状況の振り返り	耕作放棄地再生交付金を活用して、21aの耕作放棄地及び営農開始のための施設整備に対して支援した。農地中間管理機構へ貸出の申出があった農地について、借受希望者とのマッチングを行い9.4haが中間管理事業により担い手に集約された。H26の耕作放棄地調査で集団利用できそうな農地について、所有者の意向確認に取組んだが、思うような成果につながっていない。											
改革改善の考え方	①問題点	耕作放棄地となる前の農地流動化を推進するため、国の農地中間管理事業を活用するための体制づくりを行う必要がある。地域としても重要な課題であることから、地区まちづくり委員会との情報共有、連携が求められている。										
	②改革提案	人・農地プランの中心となる経営体との話し合いの機会を設け、規模拡大における課題を明らかにし、新たな担い手へ集約していく上で必要な支援策についても検討していく必要がある。										